

情報検索演習 第1回資料 オリエンテーションと講義

鶴見大学
江草由佳
国立教育政策研究所
yuka@nier.go.jp

第1回資料

1

今回のおしながき

- オリエンテーション
 - 義のWebサイトとE-mail
 - 講義ホームページ利用方法
 - 講義の目的・内容
 - 評価方法・指導方法
 - テキスト・参考書
 - USBメモリ
 - サーチャー試験
 - 講義内容
 - 情報検索とは
 - 情報検索の理論
 - 論理演算子 (AND, OR, NOT)
 - トランケーション (前方一致、後方一致、中間任意、中間一致)
- 第1回演習課題: 論理演算とトランケーション

第1回資料

2

講義のWebサイトとE-mail

- 講義のWebサイト
 - <http://momiji.mimoza.jp/lecture/2011/ir/>
 - 講義の資料がある
 - 講義の開始時にお気に入り追加+講義資料のダウンロードをすること
- 講義時間外の質問はE-mailで! yuka@nier.go.jp
 - 使えない人は次回までに使えるようになっていないこと!
 - メールアドレス: 学籍番号@stu.tsurumi-u.ac.jp
 - パスワードがわからない人は学生証を持って教務課へ
 - 鶴見大学Webメールシステム
 - <https://ems2.s-idc.net/eaajsp/login.jsp?email=1>

3

講義ホームページ利用方法 (次回以降の演習準備)

- 講義ホームページ閲覧+お気に入り追加
 1. Internet Explore を起動
 - “スタート”→“全てのプログラム”→“Internet Explore”
 2. “アドレス”に以下を入力、“Enter”キー
<http://momiji.mimoza.jp/lecture/2011/ir/>
 3. “お気に入り”→“お気に入りに追加”→“OK”
- 講義資料取り寄せ(ダウンロード)方法
 1. リンクの部分の上のマウスポインタを持っていき、右ボタンをクリック
 2. “対象をファイルに保存”を選ぶ
 3. (USBメモリ等の場所を選び,)“保存”ボタンをクリックする
 4. (印刷したい人は)印刷

第1回資料

4

講義・演習の目的・内容

- 蓄積された大量情報の中から、必要な情報を迅速、的確に検索するための知識を習得する。
- また、各種情報メディアによる検索の特徴と検索システムの構造を理解する。
- 情報検索のプロセスや検索結果の評価方法についても学習する。
- オンディスク検索およびインターネットによる情報検索を実際に演習することにより、検索スキルを習得する。

データベース検索スキルを身につける

5

評価方法・指導方法

- 評価方法
 - 50%:出席+演習課題の提出結果
 - 全て出席することを基本とする
 - 50%:最終試験の成績
- 指導方法
 - 情報検索の理論についてテキストを使用して解説する。その後演習課題を行う。
 - 実際にデータベース検索の演習を通じて、情報検索の基本を身につけられるようにする。

6

テキスト・参考書

- テキスト
 - 原田智子編著「**三訂**情報検索演習」樹村房
2006年10月 ¥1,900
 - **講義や演習で使うので必ず毎回持参すること!**

7

USBメモリ利用

- USBメモリを**毎回持参**すること
 - USBメモリであればなんでもよい
 - 講義の資料、課題の保存のため
 - 保存したファイルは再起動すると消去されるため
 - 他の講義でも利用可能
 - さまざまなファイルの保存に利用できる
- USBメモリとは
 - データを保存するメディア
 - FDよりも大容量、安定している
 - 金額:1,000円前後~
- USBメモリの使い方
<http://momiji.mimoza.jp/lecture/2007/QA/#usb>
- USBメモリのはずし方
<http://momiji.mimoza.jp/lecture/2007/QA/#usb-exit>

第1回資料

8

サーチャー(情報専門家)の資格

- 資格
 - 履歴書に書ける! (運転免許だけじゃさみしい)
 - コンピュータ利用の基本能力があること、情報の専門化をアピールできる
- 2. 情報検索基礎能力試験
 - 受けたい人は江草に連絡
 - 参考書:
情報検索の基礎知識 新訂2版発行 B5判 150ページ 定価:2,000円
購入希望者は江草に連絡
- 3. 情報検索応用能力試験
 - 1級/2級

9

1.情報検索とは

情報検索

- **IR:** information (storage and) retrieval
 - 情報(information)を呼び戻すこと(retrieval)
 - 元はinformation storage and retrieval 情報の蓄積と検索
- 1950年に**ムーアズ**(Calvin N. Mooers)が初めて定義
- 1960年代に広く使われるようになる
- search: データベース検索では、これも「検索」と訳す



情報検索の理論(1) -p.19

- コンピュータ検索では論理演算の概念が基本
 1. データベース全体から合致するものを検索し
 2. 論理積、論理和、論理差の集合の概念をもちいて、広げたり、狭めたりして検索
- 論理演算
- トランケーション

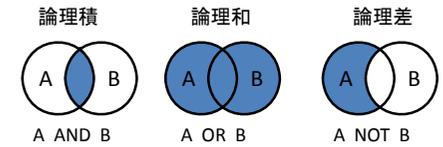
p.?は参考書のページ数を表す

情報検索の理論(1) -p.19

(1)論理演算子 -p.19

p.?は参考書のページ数を表す

- 論理演算
 - 論理積 (AND)、論理和 (OR)、論理差 (NOT)
- 論理演算子
 - 説明ではAND, OR, NOTを使うが、演算子の書き方はシステムによって様々である。



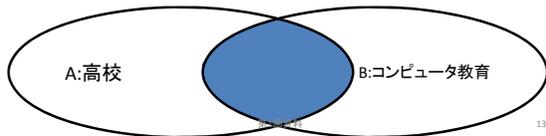
情報検索の理論(2) -p.19

(1)論理演算子 -p.19

論理積 (AND) -p.20

- Aという検索語を持つ情報の集合とBという検索語をもつ集合の両方を含む部分を検索すること
- 情報を絞り込んでいくときに有用
- 例:「高校におけるコンピュータ教育」
- 検索式:”高校 AND コンピュータ教育”

p.?は参考書のページ数を表す



論理積の例:教育 and 情報

「教育」と「情報」の両方を含む

- ヒット 高等学校「**情報**」教員養成におけるメディア・リテラシー**教育**
- ヒット **情報教育**に関わる問題—高等学校の**情報**関係科目の履修の経験による検討
- 3. 高校生のコンピュータに対する意識調査
- 4. 高等学校教員免許状取得の現状と課題—教科「**情報**」の免許状の取得
- ヒット 高校普通教科「**情報**」とスキル**教育**
- 6. 高校生の**情報**活用に関する日中比較
- 7. 高校**教育**の多様化-高等学校現場からの報告
- 8. デジタルメディア利用教授不安の減少と高校生のコンピュータ不安

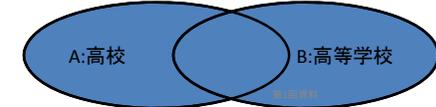


情報検索の理論(3) -p.19

(1)論理演算子 -p.19

論理和 (OR) -p.20

- Aという検索語を持つ情報の集合とBという検索語のいずれか一方の検索語をもつ集合部分と、両方をもつ集合部分全てを検索すること
- 同義語などの検索に有用
- 例:「高校におけるコンピュータ教育」
- 検索式:”高校 OR 高等学校”



p.?は参考書のページ数を表す

論理和の例:高校 or 高等学校

「高校」か「高等学校」のどちらかを含む

- ヒット **高等学校**「**情報**」教員養成におけるメディア・リテラシー**教育**
- ヒット 情報教育に関わる問題—**高等学校**の情報関係科目の履修の経験による検討
- ヒット **高校生**のコンピュータに対する意識調査
- ヒット **高等学校**教員免許状取得の現状と課題—教科「**情報**」の免許状の取得
- ヒット **高校**普通教科「**情報**」とスキル**教育**
- ヒット **高校生**の情報活用に関する日中比較
- ヒット **高校**教育の多様化-**高等学校**現場からの報告
- ヒット デジタルメディア利用教授不安の減少と**高校生**のコンピュータ不安



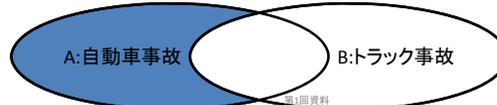
情報検索の理論(4) -p.20

(1)論理演算子 -p.20

p.?は参考書のページ数を表す

論理差 (NOT) -p.20

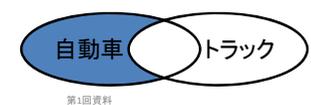
- Aという検索語を持つ情報の集合からBという検索語をもつ集合部分を除いた部分を検索すること
- 複数の言語で書かれていることはすくないので、ロシア語文献を抜くといった検索に有効
- 例:「トラック事故以外の自動車事故」
- 検索式:”自動車事故 NOTトラック事故”



論理差の例:自動車 notトラック

「自動車」を含みかつ「トラック」を含まない

- ヒット アジアの**自動車**産業
- ヒット 新しい**自動車**の構造と運転取扱法
- 3. 自動3輪**トラック**の構造と運転
- ヒット アメリカの**自動車**会社ビッグ3の復活
- 5. はたらく**自動車**:**トラック**・工事用車両
- 6. 大型**トラック**・トレーラの安全対策の研究

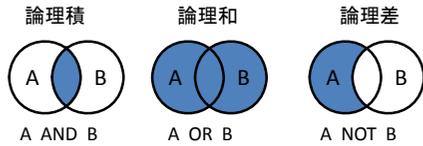


情報検索の理論(1) -p.19

(1)論理演算子 -p.19

p.?は参考書のページ数を表す

- 論理演算
 - 論理積 (AND)、論理和 (OR)、論理差 (NOT)
- 論理演算子
 - 説明ではAND, OR, NOTを使うが、演算子の書き方はシステムによって様々である。



第1回資料

1-9図 p.19

情報検索の理論(8) -p.20

(3)トランケーション -p.21

p.?は参考書のページ数を表す

- トランケーション
 - 検索語を入力する場合に、語の一部が任意であるように指定して検索すること
 - 指定方法としては、大きく分けて2種類ある
 - 任意の部分を指定する方法(マスク文字を使用)
 - 決まっている位置を指定する方法
- 図書館? /図書館
- ここはなんでもいい(任意)と指定する方法
任意の部分の特殊文字のことをマスク文字という
- ここ(前方)は(「図書館」と決まっていますよと指定する方法

第2回資料

マスク文字

- マスク文字(ワイルドカード)
 - 任意文字とする部分に使用する入力文字
 - マスク(mask): 覆い隠すから由来
- マスク文字はシステムによって異なる
 - 以下は説明で使用
 - ? : 0文字以上、何文字でもよい
 - # : 0文字または一文字
 - ! : ちょうど一文字



第1回資料

一致指定文字*

- 一致指定文字*
 - 一致する部分がどこかを示す特殊文字
- 一致指定文字はシステムによって異なる
 - 以下は説明で使用
 - / : ここから始まる、もしくは、ここで終わる

*マスク文字と異なり、この「一致指定文字」は江草が説明のために作った造語です。

トランケーション

- トランケーションには4種類ある
 - 前方一致: 前方が一致する
 - 後方一致: 後方が一致する
 - 中間任意: 中間が何でもよい、前方、後方が一致する
 - 中間一致: 中間が一致する

第1回資料

情報検索の理論(9) -p.20

(3)トランケーション -p.21

- 1)前方一致検索 -p.22
 - 検索語の前方が一致する検索
 - 検索語の末尾を任意文字に指定する検索
 - 大抵どのシステムにもある
- 例)
 - 情報? } 情報、情報検索、情報検索システム
 - /情報
 - CAT# => CAT, CATS, CATV
 - 猫を検索したいときによいが、CATVまで検索されてしまう
 - DIS! => DISK, DISC
 - 英米綴りの違いを同時に検索できる

p.?は参考書のページ数を表す

第1回資料

情報検索の理論(10) -p.20

(3)トランケーション -p.21

- 2)後方一致検索 -p.22
 - 検索語の後方を一致させる検索
 - 検索語の始まりを任意文字に指定する検索
- 例)
 - ?情報 } 情報、安全情報、特許情報
 - 情報/

p.?は参考書のページ数を表す

第1回資料

情報検索の理論(11) -p.20

(3)トランケーション -p.21

- 3)中間任意検索 -p.23
 - 検索語の途中を任意文字に指定する検索
- 例)
 - 情報?システム => 情報システム、情報管理システム、情報検索システム
 - ログ!ン => ログイン、ログオン
 - 同義語が同時に検索できる
 - WOM!N => WOMAN, WOMEN
 - 単数形、複数形が同時に検索できる
 - GR!Y => GREY, GRAY
 - 英米綴りの違いを同時に検索できる

p.?は参考書のページ数を表す

第1回資料

情報検索の理論(12) -p.20

(3)トランケーション -p.21

- 4)中間一致検索 -p.23
 - 検索語の中間が一致する検索
 - 検索語の両端を任意文字に指定する検索
 - インターネットの検索エンジンでは中間一致していることが多い
 - 一般に3文字以下の略字ではノイズを招くので、トランケーションを使わず、完全一致させたほうがよい
- 例)
 - ?情報? => 情報、交通情報、情報システム、交通情報システム

p.?は参考書のページ数を表す

第1回資料

トランケーション

- トランケーションには4種類ある
 - 前方一致: 前方が一致する
 - 後方一致: 後方が一致する
 - 中間任意: 中間が何でもよい、
前方、後方が一致する
 - 中間一致: 中間が一致する
- マスク文字
 - 任意の文字を表す
 - システムによっていろんな記号になる

情報検索の理論のまとめ

- 情報検索の理論
 - 論理演算子
 - 論理積: AND
 - 論理和: OR
 - 論理差: NOT
 - トランケーション
 - 前方一致
 - 後方一致
 - 中間任意
 - 中間一致

第1回演習課題: 論理演算とトランケーション

- 第1回演習課題を行い、提出しなさい
 - 〆切: 次回の最初に集めます。
 - 第1回演習課題は講義Webサイトにもあります。
 - **学籍番号、名前、提出日**を忘れないこと
- この課題のねらい:
 - 論理演算やトランケーション機能を使った検索式を組み立てることができるようになる。
 - 論理演算子の書き方やマスク文字が、システムによって異なることを体験する。